人工地盤用 EXジョイント JX
施工・取扱説明書

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください。

この度は、弊社人工地盤用ＥＸジョイントをご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと商品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

⚠ 製品の取扱上の注意について

・設計条件を超える荷重がかかる場所では使用しないでください。
本製品には設計荷重があります。設計条件を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を引き起こす恐れがあります。

・取付・取外しは専門業者に依頼してください。
清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取付・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。

・加工をしないでください。
切断、穴あけ、切削、変形、塗装などの加工を施さないでください。製品の強度の低下や、錆の発生の原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

・破損、変形した製品は使用しないでください。
何らかの原因で、破損や変形した製品は、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。

・油などが付着した場合、すみやかに取り除いてください。
油などの滑りやすいものが製品の表面に付着すると、車両のスリップや歩行者の転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。すみやかに清掃を行い、油などを取り除いてください。

・すき間に指を入れないでください。
カバーとカバーのすき間や、カバーと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどの怪我をする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。

・持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。
重量の重い部材がございます。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

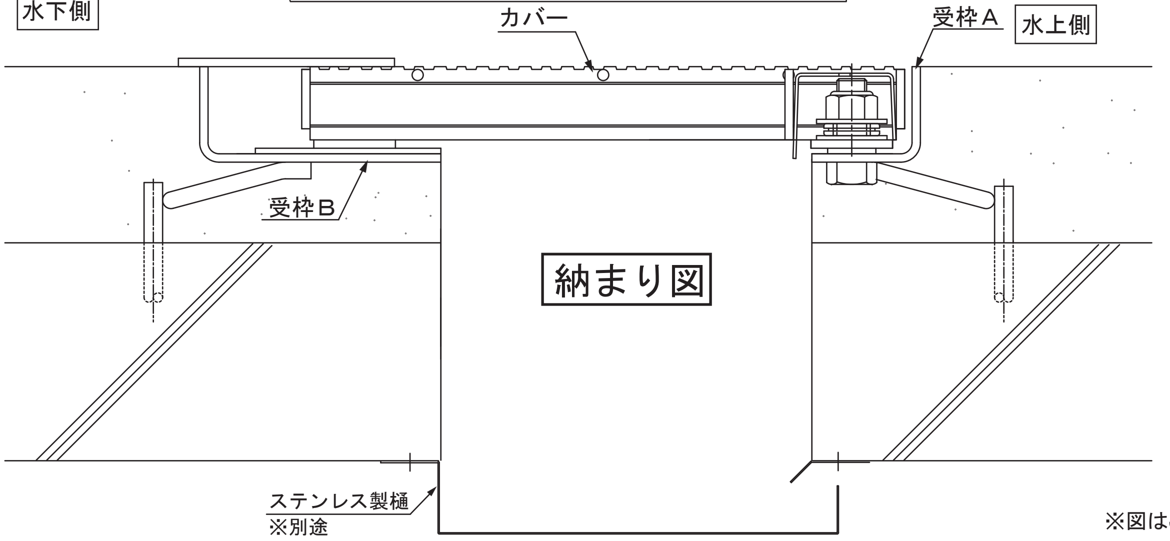
・取扱いには軍手や革手袋をご使用してください。
指のケガ及び骨折等の恐れがあります。取扱いの際は軍手や革手袋を必ずご使用してください。

・外部からの強い衝撃を与えないでください。
搬入時など本製品に衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

㈱カネソウ株式会社

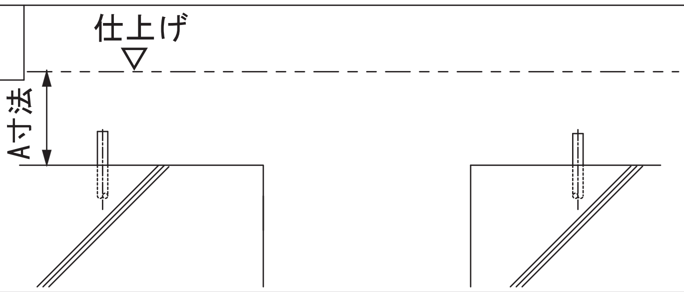
２７７－１Ｋ

JX－GHX/GQX/GCP 施工手順



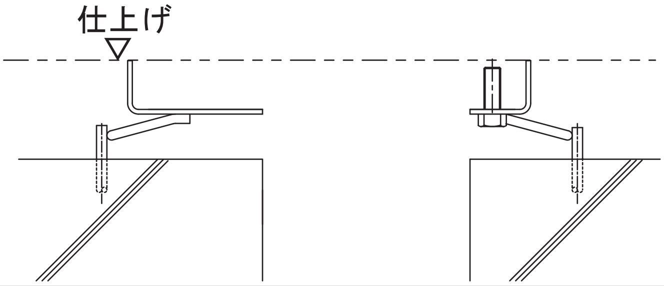
※図はJX-GQXです。

1



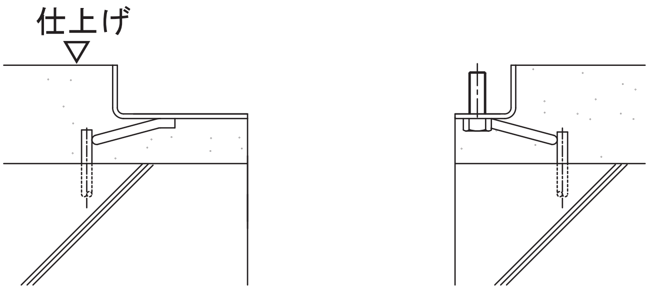
受枠A、Bのアンカー位置に合わせてφ10mm程度の鉄筋をたてておきます。スラブは仕上げレベルよりA寸法(95mm(車両用))、(75mm(歩行用))以上さげておきます。
※止水が必要な場合は、別途止水設計に基づき、ステンレス製樋を取り付けてください。

2



受枠A,Bをセットし、受枠のアンカーを鉄筋に溶接固定します。

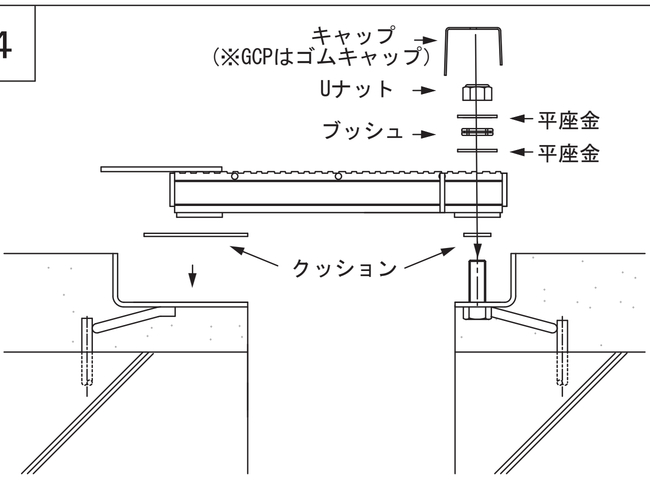
3



受枠のまわりにモルタルを充填します。その後、舗装面を仕上げます。

※ガタツキや破損などの原因になる可能性があるためモルタルはきちんと充填してください。

4



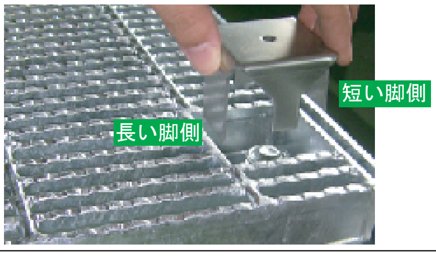
受枠の表面の汚れ、ゴミ等を清掃後クッション材をまっすぐな状態で貼り付けます。カバーをセットし、下から平座金、ブッシュ、平座金、Uナット(GHXは袋Uナット)の順で連結し、最後にキャップをかぶせます(GHXはキャップがございません)。

※GQXのキャップは方向性がございます(説明①)。
※Uナットはボルトの先端がフリクションリングに当るまで手締めした後(説明②)、T型レンチ(別売)車両用→呼び24、歩行用→呼び17で1回転半の増し締めを目処としてください。

説明①

GQX用キャップの方向性について

GQX用のキャップは前後で脚の長さが違います。受枠B側に長い脚、受枠A側に短い脚を向けて下さい。



説明②

この状態になるまでは手締めしてください。

フリクションリング